



## 所長

# ヴィーナ・ラワット

## カナダ通信研究センター



ヴィーナ・ラワットは、2004年にカナダ通信研究センター(CRC)の所長に就任しました。CRCは、無線通信・放送・情報技術の分野における応用研究・開発の実施を目的とするカナダ産業省所属機関で、職員は230名の研究員を含め約400名、年間予算はおおよそ4500万カナダドルに上ります。

ラワットのカナダ産業省における上級管理職の経験は34年間にわたります。2003年にCRC上級副所長に就任する前は、スペクトル工学、各種規格策定、新規ラジオサービスへの周波数割当、ならびに、あらゆる無線サービスの技術的規制問題に関するカナダ産業省のプログラムの運営にあたりました。

ラワットには、カナダ国内機関および国際機関(例: CITEC/OAS、APT、CEPT、ITU)の高官と共に働いてきた広範な経験があります。そのひとつは、国連の専門機関である国際電気通信連合(ITU)および米州機構(OAS)の米州電気通信会議(CITEC)におけるカナダ代表団の団長ならびに交渉リーダー役です。また、連邦通信委員会や電気通信情報庁などの米国政府機関との交渉チームのリーダーも務めました。この経験には、1990年代半ばから2003年まで務めた、国境周辺の周波数利用に関する交渉を行うカナダと米国の委員会の共同議長職も含まれます。

2003年、ラワットは女性として初めてITU世界無線通信会議(WRC)の議長を務めました。同会議は、通信

産業における数十億ドルに上る投資に影響する各種課題を討議する場所です。ITU総長は、ラワットの議長としての貢献を称えて金メダルを授与していません。

ラワットはさらに、無線通信技術・サービスに関する規格・規則の策定に関する問題を討議する、国内の地域レベル、全国レベル、国際レベルの多くの技術委員会・作業部会の議長も務めた経験があります。現在は、あらゆる衛星サービスに関する周波数と軌道の効率的な利用法に関して、緊急通信からブロードバンド・アクセスまで様々な課題を検討するITU無線通信部門第4研究部会の議長を務めています。また、科学技術に関する共同事業を促進するための二国間事業においても、いくつかの組織にカナダ代表として参加してしており、現在はカナダ・インド科学技術協力共同委員会のカナダ政府研究開発部門代表を務めています。

ラワットの業績は国内外で高い評価を受けており、カナダ通信分野女性賞の「ウーマン・オブ・ザ・イヤー」賞、米国の国際無線通信協会(WCAI)の行政国際リーダーシップ賞などの受賞経験があります。

ラワットの努力と貢献は、国家機関・国際機関における女性のリーダーシップの存在と認識の大幅な向上につながりました。ラワットは引き続き、科学技術部門で活躍する女性を支援しその数を増やすための活動に積極的に関わっています。